

はじめに

少子化・高齢化の進行、地域社会のつながりの希薄化など、社会環境が急速に変化する中、次代を担う子どもたちが他者とふれあいながら、知・徳・体の調和のとれた生きる力を身に付けていくためには、学校・家庭・地域が連携・協働して地域全体で子どもたちを育てていくことが一層重要となっています。

このため、本県においては、平成27年3月に策定した県政運営の指針となる「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」の重点施策の一つとして「社会総がかりによる『地域教育力日本一』の取組の推進」を掲げるとともに、県教育委員会では、チャレンジプランの策定に合わせて改定した山口県教育振興基本計画の「10の緊急・重点プロジェクト」の一番目に「地域ぐるみの教育推進プロジェクト」を掲げ、コミュニティ・スクールが核となり「地域協育ネット」の仕組みを生かして社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを支援する「やまぐち型地域連携教育」を推進しているところです。

こうした中、平成28年4月1日をもって県内の全ての市町立小・中学校がコミュニティ・スクールに指定されました。

また、県立学校においても、今年度高等学校3校と総合支援学校2校をコミュニティ・スクールに指定し、義務教育段階から継続的に学校・家庭・地域が連携・協働する体制づくりを進めていくこととしております。

県教育委員会としては、山口県教育振興基本計画が、本年で最終年度を迎えることから、総仕上げに向け、教育施策を総合的・計画的に推進しているところであり、教育目標である「未来を拓くたくましい『やまぐちっ子』の育成」をめざして、「やまぐち型地域連携教育」の一層の充実を図ってまいりたいと考えております。

この事例集は、各市町における「やまぐち型地域連携教育」の推進構想をはじめとし、市町立小・中学校におけるコミュニティ・スクールの取組や「地域協育ネット」等の地域ぐるみの教育活動を中心にまとめたものです。今後の取組の更なる充実にご活用いただければ幸いです。

おわりに、本事業の推進に御尽力いただいております地域の支援者の皆様をはじめ、関係者各位に心から感謝申し上げます。

平成29年3月

山口県教育委員会

教育長 浅原 司